

| | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|--|
| <p>浄土真宗 瑞林寺 坂井輪 墓苑だより</p> | <h1>无量寿</h1> <p>(親鸞聖人御真筆)</p> | <p>第47号 平成23年3月8日 発行人 〒951-8133 新潟市中央区川岸町1丁目48 (相沢企業内) 坂井輪墓苑管理事務所 TEL 025-267-9402</p> |
|---------------------------------------|-------------------------------|--|



聖人のお姿 国宝・鏡の御影

親鸞聖人 750回大遠忌法要

本年は、私たち浄土真宗の、ご開山親鸞聖人様の50年に一度の大法要、750回御遠忌法要をお迎えしました。春3月

から京都のご本山につとまり、瑞林寺も5月に仏光寺本山にお参りします。

春のお彼岸ご案内

三月十九日・二十日・二十一日(お中日)お花の用意をしております。ロースク・線香も常備しておりますのでご利用下さい。

お花の予約

電話にて受賜っております。
二六七一九四〇二(三月十八日まで)
二六〇一五二四九(当日朝でも可)

墓前読経

二十一日(お中日)のみ
午前八時半より
午後五時半まで

お墓の掃除・補修

お盆前にお墓のクリーニンング
目地補修等済ませておきますよ
う。

お掃除会員

も継続して募集しております。
詳しくは電話で事務所までお問合せ下さい。

瑞林寺のたより

春のお彼岸法要
無量壽廟 法要
本山お差向布教

三月二十日
十時三十分～三時三十分
法要と法話

● 彼岸法要特別の催し(二十日)
ひとり人形芝居 二時半より
親鸞物語「弁円のなみだ」

NHKの人形劇「ひよっこりひょうたん島」「新三銃士」の主演者安藤さんによる操演です。

三月の聞法会

- 二十八日 一時三十分より
「正信偈に聞く」
- 二十二日 二時より
「歎異抄の会」

三月の例会

- 十三日(日) 一時三十分より
「小針の歴史を学ぶ会」
どなたも自由に御参加ください。

親鸞聖人七五〇回御遠忌法要
本山参拝 五月二三日～五日

あとがき

◇冬囲いの松つりも三月を迎えると、うっとうしく感じる春の匂いただよふこの頃です。

◇宮崎の新燃岳の火山噴火につづいて、ニュージーランドの地震、アラブの独裁政治の崩壊とその飛び火、自然も国家も人間の思いを超えた現実として未来から襲ってきます。

◇一寸先は闇とも、先が見える、先が暗い、先行き不安とかいいますが、みなこれは明日の将来、未来に関することです。

◇真つ暗なトンネルを走るとは不安と恐怖ですが、前方に光が見えれば安心です。闇夜に難破しそうな船も灯台の明かりで救われます。

◇私のいのちの未来に、光はあるのでしょうか。人生の荒海に灯台の光はあるのでしょうか。

◇どんなに長寿を保ち、健康法につとめても、先が暗ければ、真の喜びも安心もありません。

◇今日が真つ暗なトンネルでも、前方に光のある人は、トンネルを抜ければ光輝く世界です。

◇未来のいのちの確かな保証を約束する教えが親鸞聖人の浄土の真宗です。浄土は今日の精気です。

親鸞聖人特集

他力念仏の教えと疑問

Q 親鸞聖人はどんなかたですか

A 聖人は八四〇年前、平家から源氏の天下のかわる戦乱の世に生まれ、鎌倉時代を生き、比叡山での二十年間の仏道修行の末、自力聖道門を捨て、法然上人の他力本願、お念仏の道に帰されました。

念仏弾圧の法難により、三十五才越後に流罪、四十二才からは関東での布教、六十才を過ぎてから京都生活での著述と、七五〇年前の十一月の二十八日、九十才をもって浄土にかえられました。

その間、仏教の歴史を変える結婚妻帯、魚や肉も食べ特別な修業をしなくとも、日常の生活の中で救われる在家仏教の確立。教行信証など沢山の書物の著述など、だれでも、いつでも、どこでも、すぐられるお念仏の道を私たちに与えてくださいました。

Q お念仏の教えとはどんな教えですか

A 本願を信じ、念仏申せば、どんな人も―善悪・老若・男女・賞罰等―差別なく平等に救われる。そのため必要な条件―修行・善行・持戒等一切求めない、無条件の救いです。

ただ一声のお念仏でも信ずれば、必ず仏になることを阿弥陀如来さまは保証する。これがお念仏の教えです。

Q それでは人殺しの犯人も救われますか

A 阿弥陀さまは救います。世の中の犯罪は、法律によつて裁かれ、刑罰があります。しかし、阿弥陀如来さまには裁くということはありません。

大慈悲心、絶対の愛の現れが阿弥陀如来です。傷を負う人、相手にされない人、病む人ほど、私のこととして共に悲しみ痛む主体が阿弥陀さまです。

Q 他力とは安易な依頼心ではないですか

A 自力とは、自分の努力という「人間努力すればなんとかなる」という人間主義です。しかし、地震・

Q 念仏は呪文ではないですか

A 南無阿弥陀仏は阿弥陀如来さまの愛の祈りの告白です。人間が仏様に祈願したり、頼んだりすることではありません。譬えれば、親が子を思う一念です。ですから、子が親におねだりする念仏ではありません。

お念仏を称えるとは、逆に子が始めて親の深い愛情、如来の大慈悲心に目覚めて感謝するお礼が私の称える称名念仏です。

Q 念仏を子供にもわかるように

A 南無阿弥陀仏は二面の意味があります。ひとつは親がわが子から一時も目を離せないほど思う親心。それは、アイ・ラブ・ユウ。私はお前を愛する、と、それに対して、子供が親の愛に始めて気づいて、サンキュウ。ありがたうの感謝の念。

この親子の、仏と人間のあいだの、愛と感謝の心と言葉の交流、交信が南無阿弥陀仏のお念仏のころです。



Q 浄土は死後の事ではないですか

A 浄土とは過去・現在・未来（三世）を貫いている大悲の世界、愛の世界のことです。譬えれば赤ちゃんにとつてのお母さんの胸懷でしょう。

人間は明日が真つ暗では、不安で夜も眠れません。明日が明るければ、今日はルンルン夜も安眠です。現代はお先真つ暗の閉塞状況。内向きとなり活力も希望も失われ、暗い世の中です。おなじく私のいのちもお先真つ暗、話題の無縁社会の孤独死も、実はいのちの未来が暗闇で騒ぎ立てていることです。

未知の未来に安堵、安心できること、どのような状況になろうと如来様の胸懷のなか、大丈夫と安心の世界を今日、現在確信して、前向きに生きる。心に浄土を持つ、これが念仏の信心です。